

えほんよ
絵本を読む 1

まよなか
ゴリラとの真夜中のデートーブラウン『すきですゴリラ』



『すきですゴリラ』^{ひょうし}表紙

(Drawn by Hinako Fujimura)

えほんこ
絵本は子どもだけのものではありません。おとなたの
えほん
大人が楽しめる絵本がたくさん出
ています。もちろん子どもといっしょに楽しめる絵本もたくさんあります。アン
トニー・ブラウンの『すきですゴリラ』(1983年)は、そんなえほん
絵本のひとつです。

ものがたり
ちちおや ふたり く
おんな こ はなし
物語は、父親と二人で暮らす女の子の話です。ハナはゴリラが大好きです。

ハナのお父^{とう}さんは仕事^{しごと}がいそがしくて、ハナの相手^{あいて}をしてくれません。そんなお父^{とう}さんでも、ハナの誕生^{たんじょうび}日の前^{まえ}の夜^{よる}、ゴリラのぬいぐるみをプレゼントしてくれました。でも、小^{ちい}さな普通^{ふつう}のぬいぐるみです。ところが、「まよなかって、ふしぎなことが おきるでしょう」。

なんと、そのゴリラのぬいぐるみがだんだん大き^{おお}くなって、りっぱなゴリラになったのです。ゴリラは、夜中^{よなか}に目^めをさましたハナの前^{まえ}でほほえみます。そして、「これから どうぶつえんに いってみよう、なんてのはどうかな」と、ハナを誘^{さそ}うのです。ゴリラの笑い顔^{わら がお}がすてきななので、ハナはちっともこわくありません。

ゴリラはお父^{とう}さんのぼうしをかぶり、お父^{とう}さんのコート^きを着て、ハナといっしょに動物園^{どうぶつえん}に行き、映画^いを楽し^{えい が たの}み、レストランでバナナとクリームパフェ^たを食べ^たべ、家^{いえ}に帰^{かえ}って庭^{にわ}でおやすみのダンスをします。

その次^{つぎ}の朝^{あさ}、ハナがゴリラとの真夜中^{まよなか}のすてきな体験^{たいけん}を話^{はな}そうとすると、お父^{とう}さんは、「たんじょうび、おめでとう。これから どうぶつえんに いくなんてどうかな？」と誘^{さそ}ってくれたのです。そして、「とっでもしあわせな」ハナとお父^{とう}さんの後^{うし}ろ姿^{すがた}で終わ^おります。

ブラウンの絵本^{えほん}では、絵^えの背景^{はいけい}からも目^めが離^{はな}せません。表紙^{ひょうし}の背景^{はいけい}にも、おもしろい絵^えが描^{えが}かれています。この絵本^{えほん}が描^{えが}かれた 1983年頃^{ねんごろ}の親^{おや}たちにとってゴリラの代表^{だいひょう}は、ハリウッド映画^{えい が}「キングコング」のゴリラでした。表紙^{ひょうし}の背景^{はいけい}では、遠^とくで、そのキングコングがビル^{うえ}の上^{あば}で暴^あれています。

絵本^{えほん}の中^{なか}でも背景^{はいけい}にモナリザやチャップリン、ジョン・ウェイン（アメリカの

えいがはいゆう
映画俳優)、^{かくめいか}チェゲバラ(キューバの革命家)、^{じゆう めがみ ゆうめい}スーパーマン、自由の女神など有名な人^{ひと}や像^{ぞう}がゴリラとして登場^{とうじょう}します。

えほん なか
この絵本の中で、ハナが食べる場面^{た ぼめん}が3つあります。はじめはいそがしいお父^{とう}さんとの朝食^{ちょうしょく}の場面^{ぼめん}、次はゴリラとのレストランでの夜食^{やしよく}の場面^{ぼめん}、3つ目は、お父^{とう}さんと誕生日^{たんじょうび}のケーキ^{た ぼめん}を食べる場面^{え ぜんたいてき しきちょう}です。それらの絵の全体的な色調^{ちゆうい}に注意^{ちゆうい}してみると、はじめの朝食^{ちょうしょく}の絵はブルーが多くて、冷たい感じ^{おお つめ かん}がします。それに対して、2つ目^{たい}と3つ目^めの場面^{め ぼめん}では壁紙^{かべがみ}やテーブルクロス^{いろ あか}の色が明るく楽しげ^{たの}です。お父^{とう}さんの服^{ふく}も、1つ目^{め ぼめん}の場面^{こ あお}では濃い青^{たい}のスーツ^{たい}だったのに対して、3つ目^めではハナの服^{ふく}と似た色^{いろ}の赤^{あか}のセーター^{せーター}です。

このように、絵本^{えほん}では絵^えのもつ力^{ちから}で、登場人物^{とうじょうじんぶつ}たちの気持ち^{きもち}を表^{あらわ}すことができる^{たの}のです。色調^{しきちょう}だけでなく、絵^えの構図^{こうず}からも登場人物^{とうじょうじんぶつ}の気持ち^{きもち}が読み取^よれるような場面^{ぼめん}があります。例えば、ハナが寝^{たど}るときのベッド^ねの格子^{こうし}は、なんだか動物園^{どうぶつえん}のオリ^{こうし}の格子^{こうし}のようなのです。

えほん
絵本^{えほん}をぱらぱら見^みながら、文字^{もじ}が表^{あらわ}すストーリー^{え あらわ}だけでなく、絵^えが表^{あらわ}すストーリー^{え あらわ}も楽し^{たの}みましょう。

(1240字)

(2020.4 Written by Masami KADOKURA)

<参考資料>

- ・アントニー・ブラウン『すきですゴリラ』（あかね書房、1983年）

★ブラウンの絵本をあと2冊、紹介します。

- ・アンソニー ブラウン『こうえんで…4つのお話』（評論社、2001年）
- ・アンソニー ブラウン『森のなかへ』（評論社、2004年）



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.